

# 農業者年金加入推進等 視察研修報告

(高橋 文雄)

農業者年金の加入推進活動等を学ぶため、農業委員・農地利用最適化推進委員が先進地を訪問し、視察研修を行いました。

## 7/26 群馬県みどり市農業委員会



平成28年4月の改選を機に農業者年金加入推進体制を整え、加入推進の取り組みを強化。同29年4月から6月の3か月間で14人の新規加入者を獲得した。

2町・1村が合併して誕生したみどり市。北部の中山間地域から南部の平坦地まで縦長の地形となっており、野菜や稲作、果樹、畜産など多岐にわたった農業経営を行っています。平坦地では施設園芸や野菜など産地化が進み、基幹産業としてみどり市の農業を支えています。

農業者年金の加入推進活動は、事務局が作成した加入推進名簿やパンフレット等を入れた「加入推進セット」を持ち、加入推進部長・農業委員が戸別訪問しています。農業者の中にはまだ破たんした旧制度への抵抗感のある方が少なくないため、訪問の際は加入要件や財政方式を説明しながら、特に旧制度との違いをアピールするそうです。関心のある農業者がいた場合は事務局へ情報提供し、後日事務局が詳しい説明や加入手続きを行うため改めて訪問するとのことでした。



加入していてよかったという受給者の声を聞き、これまで以上に強化した結果、新規加入者が増えたそうですが、今後は新たに推進委員も加えて、女性や若い農業者を中心に加入推進に取り組むたいと話していました。

地道な活動が加入推進につながることを確認出来た研修でした。

## 7/27 こんにゃく特産研究センター



全国一のこんにゃく産地、群馬県のほぼ中央に位置する県農業技術センター内の施設。敷地内にある1.4haのほ場で、こんにゃくやタラノキの品種育成などを行っている。

こんにゃくの生産が全国一の群馬県。近年は機械化が進んでおり大規模農家もありますが、昔と比べて栽培農家は減っているようで、種芋を植えてそれを大きくして販売するため新規で栽培を始める人はほとんどいないのが現状だそうです。

この施設は、昭和21年に国の助成により、こんにゃく腐敗病の発生防止をテーマに県立農業試験場こんにゃく指定試験地として設置されました。主な試験研究として、こんにゃく品種育種試験、こんにゃくの持続的な高生産技術の開発、こんにゃく作況調査、環境にやさしい持続的高生産技術開発研究、センシング技術を活用したこんにゃく栽培管理支援システムの開発・実証、タラノキ耐病性品種育成及び栽培安定化技術の開発があります。



これまで育成されたこんにゃくの品種は、「はるなくろ」、「あかぎおおだま」、「みょうぎゆたか」、「みやままさり」の4品種で、病気に強い、マンナンが多い、肥大性が良いなど、それぞれに特徴があるそうです。和やかな雰囲気の中、参加した委員も積極的に質問し、大いに触発されました。その後ほ場も見学し、収穫の多い研修になりました。



## 農業者のための 農業者 年金です

- ①農業に従事されている方は誰でも加入できます
- ②少子・高齢化時代に強い積立方式の年金です
- ③終身年金で80歳までの保証つきです
- ④支払った保険料は全額社会保険料控除の対象となります
- ⑤認定農業者など一定の要件を満たす方には保険料の国庫補助があります
- ⑥保険料の額は自由に設定できます（月額2万円～6万7千円）

詳しくはJAか農業委員会事務局・各分室、または農業者年金基金へご相談ください。